

**地域提案型**

**平成23年度 採択内定案件**

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	インドネシア共和国
2. 事業名	ブンカリス県における環境改善協力
3. 事業の背景と必要性	ブンカリス県は貴重な熱帯泥炭湿地林が残存するスマトラ東北部にあり、石油の産出による経済開発が急速に進行している。現在、生活環境改善と持続可能な自然保護をいかに進めるかが、県行政の大きな課題である。当地域は地球環境問題の関心が高い地域の一つであり、日本にとっても非常に重要な地域である。インドネシアにおいては環境行政の権限と責任が地方へ大幅に移譲されているが、地方政府にはそれに応える体制が整備されていないことが指摘されている。このような状況のもとで、行政・市民・大学・企業が密に連携して環境問題に対処する宇部方式の精神をこの地域に移転することによって、持続可能な環境管理の体制づくりと人材育成に資することが強く求められている。地球規模の環境問題に関して、日本とインドネシアとの相互理解を地域レベルで深めていくことも重要である。
4. プロジェクト目標	「宇部方式」の精神を活かしたブンカリス県環境基本計画の作成を通して、ブンカリス県の環境管理の仕組みを強化する。
5. 対象地域	リアウ州 ブンカリス県
6. 受益者層（人数規模）	ブンカリス県民約50万人
7. 活動及び期待される成果	<p>&lt;成果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブンカリス県の望ましい環境目標像および環境基本方針が定められる。</li> <li>2. 環境基本計画に必要なデータを収集・取得する。</li> <li>3. 成果1及び2に基づきブンカリス県環境基本計画を作成する。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 環境基本方針作成のための研修を実施する（研修員受入）。</li> <li>1-2 進捗状況確認及び環境基本方針作成を側面支援する（専門家派遣等）。</li> <li>1-3 ブンカリス県行政内で環境基本計画作りの計画策定チームを作る。</li> <li>1-4 県職員が環境目標像及び環境基本方針についての産官学民の意見交換会を開催する。</li> <li>1-5 県職員がブンカリス県の望ましい環境目標像と環境基本方針をまとめる。</li> <li>2-1 環境モニタリングデータ測定及び整理のための研修を実施する（研修員受入）。</li> <li>2-2 進捗状況確認及び環境モニタリングデータ測定と整理を側面支援する（専門家派遣）。</li> <li>2-3 県職員が計画策定に必要なデータの種類、入手方法を整理する。</li> <li>2-4 県職員が環境モニタリング体制の現状を把握する。</li> <li>2-5 県職員が環境モニタリング体制を強化する。</li> <li>2-6 県職員が計画策定に必要なデータを測定し整理する。</li> <li>3-1 環境基本計画作成のための研修を実施する（研修員受入）。</li> <li>3-2 進捗状況確認及び環境基本計画策定を側面支援する（専門家派遣等）</li> <li>3-3 県職員が環境基本計画（案）を作成する。</li> <li>3-4 県職員が作成した環境基本計画（案）についての説明会を開催する。</li> <li>3-5 県職員がブンカリス県環境基本計画を完成する。</li> </ol>
8. 実施期間	2012年11月～2015年3月
9. 事業費概算額	24,815千円
10. 事業の実施体制	宇部市の支援の下、山口大学、地元企業群、NPOの協力も得て、宇部環境国際協力協会が実施する。
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 団体名（提案自治体）	山口県宇部市
2. 対象国との関係、協力実績	山口大学理工学研究科（宇部キャンパス）へのブンカリス県職員の留学生受け入れ、宇部市によるインドネシア留学生に対するインターンシップ研修の受け入れ、本事業の事前調査へのブンカリス県の協力など